

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター安食（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育士計画による毎日の活動プログラムがある	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢保持をする力や、身体の協調運動を育てる活動内容への取り組み ・ソーシャルスキルを取り入れた活動 ・製作やおやつ作りと言った様々な工程のある活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や、学校生活での課題の共有（家庭での興味あるもの、好きな物など）
2	・言語聴覚士による言語療法、ソーシャルスキルトレーニングを実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルスキルを必要に応じて、個別または小グループで実施。 ・保護者へ動画にてフィードバックを実施。 ・集団療育の中へ活かす工夫。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や、学校生活での課題の共有 ・本人との個別面談を実施
3	・作業療法士、理学療法士による運動面や身体のケアへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・個別、または集団の活動へのアドバイスを受ける ・個別に関しては、プログラム作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や、学校生活での課題の共有

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・言語療法、ソーシャルスキルトレーニングの頻度	・枠が少ないため積み重ねていくことに時間がかかる	・現場の保育士、児童指導員へも取り組みの共有を行い、日々の活動での取り組みをしていく。
2	・保護者の連携を持つ場面が少ない	・就労されている保護者が多く、集まるのが難しい	・個別面談の中で情報共有を行う。
3			